

## 行政職 令和2年入団

### 総務課所属

#### よりよい水道水を 届けるための土台となる

##### —これまでどんな仕事をしてきましたか

総務広報係に所属しており、主に広報業務を中心に日々働いています。例年の広報業務は直接県内各地に足を運び、企業団について説明をし、県民・市民の皆様に理解を深めていただいております。ですが、私が入団をした令和2年度は、全国で新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、例年通りの広報業務ができる見込みはありませんでした。

そんな中、直接的に対面せずとも実施ができ、なおかつ企業団の魅力を発信できる広報業務はないかと模索をし、2つの新しい広報業務の形を築き上げました。

1つ目は、ネットワークを駆使し、企業団と小学校の間で中継を結び、オンライン授業といった形で実施しました。

過去の実施例はないことに加え、回線の不具合や環境設備の不足等もあり、不安の中での試行錯誤の繰り返しでした。また、これを短期間で仕上げなければいけないといった課題もありました。

授業をとおして、子供たちに水道の大切さを知ってほしい気持ちと、短い期間の中で納得できる形で実施できるのかといった気持ちでいっぱいだったのを覚えています。

ですが、当日を迎えてみると、子供たちの元気な姿また、水道に関して真っ直ぐな疑問に直接触れることができ、広報係だからこそそのやりがいを改めて感じることができました。

2つ目に、企業団の浄水場見学に変え、企業団の浄水場を説明した動画を作成しました。映像については、テレビで活躍するプロのカメラマンや映像製作チームに依頼をしましたが、同伴をする中で、企業団が伝えたいこと、また水道利用者が知りたいことの両方が分かり、完成した際の感動は今でも忘れられないものとなっています。

##### —今はどんな仕事に従事していますか

現在は、4つ（神奈川県・横浜市・川崎市・横須賀市）の構成団体から選出される議員11人で構成される企業団議会の業務を担当しています。

主な業務は議会で使用される資料の取り纏め、当日の運営業務です。各課から上がってきた資料を取り纏めた上、議員・各構成団体・水道関係報道機関に送付し、議会当日には裏方のサポート役として、運営がスムーズに回るよう動いています。



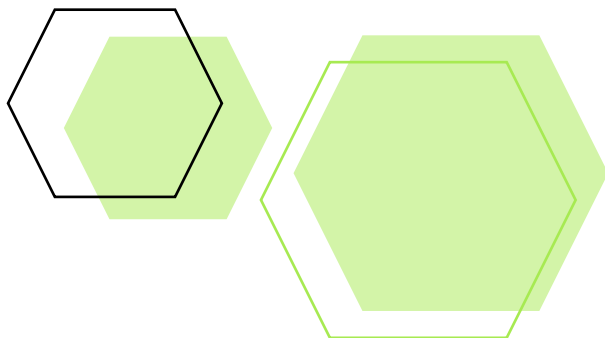
企業団議会の業務に関しては、ただ単に事務的な業務をするわけではありません。議会で使用する資料には、企業団が現在立たされている状況、そして将来目指す目標が記載されています。その内容を理解しつつ、県民・市民の代表である議員の質問に企業団幹部がどのように考え、議員の方々からの質問に答えているのかといったところを、議会業務に携わりながら学んでいます。

### —企業団の仕事のやりがいは何ですか

私たち事務職は、水道水を作る工程に直接関わることはありません。ですが、より良い水道水を届けようと奮闘する技術職の土台となり、間接的に関わっていくことはできます。

土台がなければ建物が建てられないように、事務職がいなければ企業団は成り立ちません。例を挙げさせていただくと、大きな工事の契約を結ぶ事、予算・決算を立てる事、将来に向けて4構成団体と調整をする事、職員にお給料を支払う事、職場環境を整える事、これは事務職が中心に担っていることです。

水道水の製造に直接かかわる技術職がいて、それを支える事務職がいてこそ、水道水は製造され、皆さんのもとへ届けられています。「安心安全な水道水を作り、届け続ける。何があっても断水させない。」これを事務職・技術職一丸となって守っていくことこそが、企業団の使命であり、その一人として微小でも関わっていることに、やりがいを感じています。



### —職場の雰囲気について教えてください

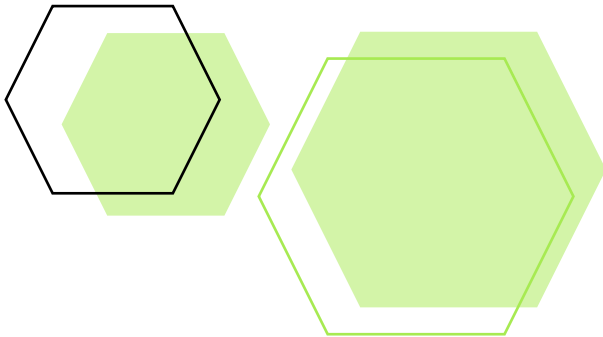
皆さんが思い描く良い職場の雰囲気とは、どのようなイメージでしょうか。毎日、職員が生き生きと働く活気のある職場でしょうか。もしくは、職員が業務に真剣に取り組むことができる緊張感のある職場でしょうか。

企業団職員は、目標を共有して前向きに努力しています。というのも、令和3年3月に「かながわ広域水道ビジョン」を策定しました。ビジョンとは、概ね30年後における企業団の「将来像」とその実現に向けた3つの取組みを定めたものです。

つまり、企業団には目指す目標があるということです。目標があることで、職場全体で目標を共有し、同じ方向を向いて、前向きに努力ができる良い雰囲気が出来上がっていると私は感じています。

同じ目標に向かって、同じ熱量で仕事ができる環境や上司などに恵まれているため、大変な仕事も前向きに楽しんで取り組む事ができる良い職場です。

## 「当たり前」「普通」を守ること



## 一趣味やストレス解消法について教えてください

身体を動かすことが幼い頃から好きでしたので、少しでも身体を動かすと、良い気分転換になります。また、故郷が温泉街ということもあり、温泉につかることで頭の中が整理される感じがします。最近では、温泉をゴール地点に置き、走ることはまっています。走った後のヘトヘトの身体で温泉に入ると身体にも心にも染みます！もちろん帰りは電車です。（笑）

企業団では、週休2日（土・日）に加え、毎週水曜日・金曜日が定時退庁日となっているため、「自己啓発」「健康・休養」といった私生活の時間に当てられます。私生活では、自炊をしたり映画を見たり、たまには早く寝たりなど、仕事と生活の調和がとれるよう過ごしています。

## 一将来の目標、目指していることについて教えてください

企業団には、将来なりたいと思える上司や同僚が多くいます。全体の業務を意識しながらより良い職場にするためにはどうしたらよいか考える職員・1つの問題に対して1つの見方ではなく、いろんな角度からみて最良の判断、指示が出せる職員・企業団と構成団体や水源地域に住む方々との繋がりを意識しながら働く職員など、将来あなたがなりたいと思える姿をしている上司は必ず企業団で出会えます。

私は、そういった上司の背中を見て、企業団について疑問を持っている県民・市民の方々にはもちろん、企業団職員といった内部が抱く疑問に対しても、自分の言葉でわかりやすく説明できる職員になりたいと考えています。それも一部の分野ではなく、広い分野に渡って理解・説明できる

知識を持った職員になりたいです。それが、今現時点での一番高い目標です

## 一受験者の方にメッセージをお願いいたします

「蛇口から水道水が出る。当たり前のことでしょ？」これは私が入団した際に考えていたことです。ですが、入団してからその考えは、決して当たり前のことではないと気づかされました。

ここ数年で起きた、新型コロナウイルス感染症の流行・度重なる風水害によって「当たり前」「普通」といった言葉がどれだけ重さのある言葉か気づかされた人も少なくはないと思います。

それでも、企業団の職員は、蛇口から水が出るといった『当たり前』を守るため、働いています。これを読んでいるあなたが、少しでも水道について興味をもっていただき、一緒に働きたいと思っていただけたのであればうれしいです。将来、一緒に水道を守っていきましょう！皆さんの挑戦をお待ちしております！

